

高病原性鳥インフルエンザの侵入を阻止しよう！

秋から春先までは、特に高病原性鳥インフルエンザの発生しやすい季節です。対策を万全にし、大切な鶏を病気から守りましょう。

平成21年に入ってから海外では発生が続いています。

中国、ロシアでも発生が確認されています。

主な症状

突然の死亡、呼吸器症状、下痢、産卵率の低下・停止、食欲減退、飲水量の低下、顔面・肉冠・脚部の浮腫、神経症状、出血班、チアノーゼなど



肉冠の出血・壊死



顔面の浮腫性腫脹



脚部皮下の出血



突然の死亡

鶏卵、鶏肉を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染することは、世界的にも報告されていません。

作業終了後は、必ず手洗いとうがいを行ってください。

～侵入防止対策～

【野鳥などの侵入防止対策】

鶏舎、飼料置き場、堆肥舎などに防鳥ネットを張って、野鳥が入らないようにする。

【野生動物による侵入防止対策】

ネズミ、マングース等が入らないようにする。
ハエ、ゴキブリなどの衛生害虫の駆除を徹底する。

【飲用水の対策】

水道水以外を与える場合は、消毒して使用する。

【消毒などの衛生対策】

鶏舎の出入り口に踏み込み消毒槽を設置する。
長靴、手指、器具はよく洗い、消毒を徹底する。
従業員への衛生管理の教育を徹底する。

【人・物・車両による伝播の防止対策】

関係者以外の立入制限、出入りする車両の消毒を行う。

【異常鶏の早期発見・通報】

日常の健康観察を徹底する。



家畜伝染病侵入防止

～早期発見・早期通報～

098-945-2297

沖縄県中央家畜保健衛生所